

上村・南信濃まちづくり通信 <特別号>

遠山郷学園だより

2025 年 5 月発行

発行：上村まちづくり委員会
南信濃まちづくり委員会
編集：遠山郷学園会議

子供は地域の「宝」

～こどもたちが通いたい、保護者も地域の人も学ばせたい、
そして、先生が生きがいをもって働きたい学校づくりをめざして！～

南信濃まちづくり委員会 会長 遠山 典男

地域の皆様には、日頃よりまちづくり委員会の活動につきまして、ご理解とご協力を頂き感謝と御礼を申し上げます。

さて、今年の4月から「遠山郷学園」が施設分離型としてスタートしました。しかし、生徒数の減少により3校それぞれで存続していく事には限界があります。そのため、上村・南信濃両地区では、飯田市の他の地区に先駆けて今後のあり方について検討してまいりました。

現在、上村・和田保育園では合同保育を行っています。一緒に保育を受けた園児たちが別々の小学校へ入学する状況が生じています。学校のあり方の方向性が明確に示されない中で、不安を抱えながら子育てをされている皆様に、一日でも早い方向性をお示しすることが必要であると考え、2つの小学校をひとつに再編することの判断に至りました。上村小学校の施設を活用し、中学校は遠山中学校をそのまま活用する内容にて、決定機関である飯田市教育委員会へ要望することといたしました。

子供は地域の「宝」です。これからも、これまで以上に上村・南信濃両地域で支えていきたいと思えます。そのためにも、子供が通いたい、親が学ばせたい、そして先生が生きがいをもって働きたい学校でなければなりません。

上村・南信濃両まちづくり委員会も飯田市や飯田市教育委員会への要望や協力要請をいたしますが、地域の皆様にも是非ともご理解とご協力をお願いいたします。

上村まちづくり委員会 会長 前島 道広

日頃より、まちづくり委員会の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、以前より2地区で要望を続けてきた遠山中学校の小規模特認校指定が昨年10月に決定され、令和7年4月から遠山郷学園がスタートできたことは、2地区連携の大きな成果の一つであると感じています。

遠山郷学園が小規模であっても魅力ある9年間の教育環境を充実していくためには、これまで以上に遠山2地区が小中学校並びに保育園を支え、応援していく体制づくりが重要であると考えます。

飯田市の学園構想に基づいて市内の9学区が施設分離型の学園をスタートさせたわけですが、児童生徒数が最も少ない遠山郷学園においては、小中学校の配置については、早急に対応策を講じる必要があります。両地区まちづくり委員会及び「遠山郷学園会議」で何度も議論を重ね、遠山地区の未来にむけた学園づくりを地域と共に目指すために、小学校をひとつに再編する要望を提出する考えに至りました。

この要望の実現に向けて、両まちづくり委員会で市及び市教育委員会と協議を進めてまいりますので、地域の皆様におかれましてはご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◇飯田市の「学園構想」と小中一貫教育とは

- ・飯田市の小中学校28校を9つの中学校毎に学園として位置付けます。遠山2地区の小中3校は、「遠山郷学園」となります。
- ・小中一貫教育とは、「義務教育9年間でめざす子どもの姿」を決め、小中学校の先生が一つのチームとなって教育活動に取り組むことで、子どもたちの成長がより確かなものとなるようにめざします。

◇検討組織「遠山郷学園会議」の設置と検討目標について

- ・令和5年10月、飯田市教育委員会より「学園構想」について説明を2地区まちづくり委員会の役員がお聞きし、令和6年1月に学園構想を検討する組織「遠山郷学園会議」を設置しました。
- ・令和6年度の遠山郷学園会議の検討目標を次のとおり設定しました。
 - ア R6年6月 「遠山郷学園」構想を確認する（地域協議会へ諮問の場合は答申）
 - イ R6年上半期 遠山中学校の小規模特認校指定の方針を確認する
 - ウ R6年度中 遠山地区小中学校3校の配置・枠組みについて方針を決定する
 - エ R7年4月 遠山中学校の小規模特認校制度をスタートする
- ・これまでの遠山郷学園会議の検討経過は最終ページに掲載してあります。

◇遠山地区小中学校3校の配置・枠組みについて方針を決定

- ・遠山郷学園会議の令和6年度の検討目標であった「遠山地区小中学校3校の配置・枠組み」については、関係する皆さんとの懇談などを通じて、最終的に2地区のまちづくり委員会の役員との協議により以下の方針としました。

1 配置・枠組みについての方針

- （1）現在の遠山3校の児童生徒数の現状と将来予測を考えれば、できるだけ早期に再編することが必要であることから、2つの小学校をひとつに再編する。
- （2）再編する小学校は、上村小学校の施設を活用する。中学校は現在の遠山中学校をそのまま活用する。
- （3）再編時期は、子育て世代や地域の不安を解消するために、できるだけ早期に再編すること。地域としては令和8年4月1日を要望する。

2 その理由

- ア 現在の児童・生徒数の推移及び将来推計から、3校それぞれが施設分離型で存続していく事は限界がある。
- イ 令和5年度より上村保育園・和田保育園の合同保育がスタートし、それぞれの特色ある資源を活用した自然保育が展開されているが、一緒に保育を受けた園児たちが、別々の小学校へ入学する状況が生じている。
- ウ 学校のあり方の方向性が明確に示されない中で、不安を抱えながら子育てをされている皆さんに、一日でも早い方向性を見出すことが必要であること。

3 検討にあたって大切にしたこと

- ア 保護者との意見交換の中で、迅速に協議を進めてほしいとの意見が多く提案されていること。
- イ 検討するにあたっての基本は、「子どもを真ん中において、子どもたちにとってより良い学びの環境をつくること」を大切に議論した。
- ウ 学校は、地域コミュニティの拠点であり、地域の将来の担い手や支え手となる人材を育む場でもあることにも留意した。

◇飯田市及び飯田市教育委員会へ要望書を提出

- ・令和7年4月1日より、学園構想が施設分離型（今までと同じ）でスタートしました。
- ・そして、中学校区（遠山郷学園）における学校の配置と枠組みは、関係する地域における検討に委ねられています。
- ・そこで、遠山2地区では、昨年からの検討において、「遠山地区の小中学校3校の配置・枠組みについての方針」を決定しましたので、以下のとおり、その方針を、要望書として飯田市長及び飯田市教育長に提出しました。なお、この要望を受けて、飯田市で検討することとなりますので、決定ではありません。

令和7年5月7日

飯田市長 佐藤 健 様

飯田市教育長 熊谷 邦千加 様

遠山郷学園における学校の配置・枠組み等についての要望書

上村まちづくり委員会 会長 前島 道広

南信濃まちづくり委員会 会長 遠山 典男

◇前文省略

◇要望事項

1 遠山郷学園における学校の配置枠組みについて

- (1) 現在の遠山3校の児童生徒数の現状と将来予測を考えれば、できるだけ早期に再編することが必要であることから、2つの小学校をひとつに再編する。
- (2) 再編する小学校は上村小学校の施設を活用し、中学校は現在の遠山中中学校をそのまま活用する。
- (3) 再編時期は、子育て世代や地域としての不安を解消するために、できるだけ早期に再編することに鑑み、令和8年4月1日を要望する。

2 魅力ある教育活動の実現に向けた教職員の適正配置について

- (1) 飯田市独自の小中一貫教科「みらい創造科」の実現や小規模校ならではの特色ある教育活動や遠山郷の小中学校で培った地域学習を充実するためにも、国等の基準だけにとらわれず、教育力の低下や教員の負担増とならない教職員の配置を要望する。

[要望内容の背景と趣旨]

◎上村及び南信濃の両まちづくり委員会では、これらの意見を最大限に尊重し、「迅速に」かつ「子どもを真ん中において子どもたちにとってより良い学びの環境をつくること」を強く願い、2つの小学校の再編を要望します。なお、「飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針」で定められている、施設一体型、施設隣接型及び義務教育学校等の組立を早急に検討していただくことを併せて強く望みます。

◎小規模校においては、児童生徒数は少数ですが、授業の準備や運営など規模の大小に関わらず時間が必要となります。とりわけ、複式授業を導入している場合は時間的余裕がないことが想像されます。過疎地域にある小規模校で実践的な授業が行われるよう、国等の基準にとらわれない教職員の配置を要望します。

◇検討組織「遠山郷学園会議」のこれまでの検討経過や関係者との懇談経過は、次のとおりです。

(1)遠山郷学園会議の開催経過

- ア 遠山郷学園会議（小委員会）開催（R6.1.29、R6.4.25、R6.5.31）
※小委員会のメンバーは、まちづくり副会長、公民館長、3校保護者代表、若年層代表等9名。
- イ 遠山郷学園会議（全体会）開催（R6.6.10、R6.8.28、R7.4.24）
※全体会のメンバーは小委員会委員、3校校長、地域協議会会長、教育関連団体代表等23名。
- ウ 遠山郷学園会議（総務部会）開催（R6.10.10）※まちづくり正副会長、公民館長、3校校長等9名。
- エ 大町市立八坂小中学校視察（R6.11.6）※施設分離型の義務教育学校及び山村留学センターの視察
- オ 遠山郷フォーラム（R6.11.30）
※遠山郷2園3校ランドデザインに基づく各学校の取組の発表、意見交換の実施
- カ 遠山郷学園会議正副委員長・まちづくり会長・公民館長会議（R7.1.28、R7.3.27）
※配置・枠組みに関する検討。2地区の方針(案)協議、作成。

(2)保護者等との懇談経過

- ア 遠山3校の各PTA総会で「遠山郷学園会議」の取組説明（R6.4～）
- イ 遠山3校各校学校運営協議会で「遠山郷学園会議」の取組説明（R6.4～5）
- ウ 遠山3校合同学校運営協議会で「遠山郷学園会議」の取組説明（R6.5.17）
- エ 遠山3校保護者懇談会で「学園構想」について意見交換（R6.5.25、R6.11.1）
- オ 和田小学校保護者との意見交換会（R6.7.30、R7.2.17）
- カ 上村地区保護者に「学園構想」に関するアンケート実施（R7.2.19～）
- キ 遠山3校の各PTA総会で「遠山3校の配置・枠組みの方針（案）」の説明（R7.4.18、R7.4.28）
- ク 遠山3校の各校学校運営協議会で「遠山3校の配置・枠組みの方針（案）」の説明（R7.4.25、R7.5.2）

(3)地域協議会、教育に関する地域団体との懇談経過

- ア 上村及び南信濃地域協議会「学園構想」についての勉強会を開催（R6.5.2、R6.5.7）
- イ 上村及び南信濃地域協議会「学園構想のあり方」関し意見を付し答申（R6.5.2、R6.5.7）
- ウ 南信濃及び上村「市長と語るまちづくり懇談会」開催（R6.7.19、R6.8.20）
- エ その他、教育関係活動団体等と懇談会（R7.3.21、R7.3.24）

◇今後の「遠山郷学園会議」の検討事項について

- ・地域の要望に基づいて、遠山郷学園の配置が現在の小中学校3校から「小等部（小学校）」と「中等部（中学校）」の2校に再編することが迅速かつ丁寧に進められるよう検討、協議が必要です。
- ・3校の教育の特徴や魅力を活かし、上村と南信濃地区の地域住民、保護者が共に学校と協働しながら、子ども達の学びや成長を支えていく「遠山郷学園としてのコミュニティスクール」の体制整備が必要です。
- ・地域の住民の皆様のご意見やご提案を、ぜひ遠山郷学園会議の事務局までお寄せください。

◆遠山郷学園会議事務局

◇上村自治振興センター（0260-36-2211） 所長 野牧、公民館 井川

◇南信濃自治振興センター（0260-34-5111） 所長 林、公民館 小島